

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	「感謝と思いやり」「自分のあり方」について、講義、DVD、書籍を活用しながら自ら考えたり、クラス内で話し合いや発表を行う。感謝と責任感、他者への思いやりを日常生活でカタチとして表現・実践できるよう、学生の気づきを促す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		キャリア実現のカギは専門能力及び発揮できる力ということへの気づき	
	○			○		人間力の根底の「感謝心」への気づき	
				○		人間力を高めるマナーの重要性の気づき	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう①(映像DVD、テキストP6～9)					
	2	グローバルシティズンを目指そう②(テキストP10～15)					
	3	「協同」の態度をもった学生生活①(テキストP16～18)					
	4	「協同」の態度をもった学生生活②(Fish映像、テキストP19～23)					
	5	よりよい人間関係の構築に向けて①(テキストP24～27)					
	6	よりよい人間関係の構築に向けて②(テキストP28～31)					
	7	マナーの本質①(テキストP32～42)					
	8	マナーの本質②(テキストP43～50)					
	9	マナーの本質③(テキストP51～62)					
	10	グローバルシティズンとしての日常①(テキストP63～67)					
	11	グローバルシティズンとしての日常②(テキストP68～70)					
	12	グローバルシティズンとしての目標①(テキストP71～80)					
	13	グローバルシティズンとしての目標②(テキストP81～89)					
	14	グローバルシティズンとしての「志」に向けて①(テキストP90～96)					
15	グローバルシティズンとしての「志」に向けて②(テキストP97～103)						
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および課題提出で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○			○		50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	Word I						
科目名(英)	Word I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	柴田大輔、各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	社会に出て必要となるパソコンスキルを身につけるために、Wordの基本的な操作方法を学ぶ。また習熟度に応じたクラスに分かれ、日本情報処理検定協会が主催する検定(日本語ワープロ検定)の合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	目標		
	○		○		文字入力をスムーズに行い、10分以内に各検定級で指定される文字数(3級:300字など)を入力することができる。		
	○		○		Wordの操作方法を学び、日本語ワープロ検定3級で出題されるビジネス文書を作成することができる。		
テキスト・教材 参考図書	・日本情報処理検定協会出版 日本語ワープロ検定試験 模擬問題集(3級～初段)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Word①(10分入力、ビジネス文書の基本について)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	Word②(10分入力、ページ・文字設定の方法)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	Word③(10分入力、段落設定、表の作成や装飾)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	Word④(10分入力、全体構成の確認)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	Word⑤(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.1)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	Word⑥(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.2)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	Word⑦(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.3)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	Word⑧(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.4)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	Word⑨(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.5)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	Word⑩(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.6)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	Word⑪(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.7)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	Word⑫(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.8)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	Word⑬(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.9)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	Word⑭(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.10)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	Word⑮(10分入力、検定模擬試験の練習:テキスト問題No.11)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○		◎			100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	公務員リテラシー I (前期)							
科目名(英)	Public Officer Literacy I (Former Period)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	各担任			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	公務員総合科1年							
授業概要	全体に対して公務員の職種紹介を行い、その後に各自が目指す公務員の業務内容をホームページやパンフレット等で調べることで、業界に関する知識・理解を深める。また二次試験対策として入退室のマナーや履歴書の書き方指導、コミュニケーションに関する指導を行う。							
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○			○		自らが目指す公務員の業務内容を理解し、将来目標を設定して他者に適切に伝達することができる。		
	○		○	○		面接試験にあたり、入室や基本的な受け答えができる。		
	○			○		自己分析を済ませ、履歴書を作成するにあたり大まかな方向性ができている。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	公務員試験制度ガイダンス(試験概要)				自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、試験制度を確認しておくこと		
	2	社会人基礎研修(行政マネジメント研究所による講話)				授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	3	ボランティアの目的と意義(北九州市社会福祉協議会による講話)				授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	4	公務員職種ガイダンス①(国家公務員一般職)				自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	5	公務員職種ガイダンス②(地方公務員)				自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	6	公務員職種ガイダンス③(公安)				自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	7	面接にあたって①(所作の練習)				自宅でも所作の練習をしておくこと		
	8	面接にあたって②(コミュニケーションとは)						
	9	自己分析①(自分史の作成)				授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	10	自己分析②(自己PRの作成)				授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	11	グループによる職種研究①(職種グループ分け、研究内容選定)						
	12							
	13	グループによる職種研究③(PCや紙資料等による研究)						
	14							
15	職種研究発表(後期の職種研究に向けて)							
評価方法	出席状況、面接検定、職種研究発表の成果、課題提出で評価する。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	宿題・レポート	○			○		20%	
	面接検定			○	○		50%	
	職種研究発表	○		○	○		20%	
	出席状況				○		10%	
履修上の注意								

科目名	数学 I (前期)						
科目名(英)	Mathematics I (Former Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	三藤 宏光		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野のうち「数学」について、公式や解法、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					数学の公式や解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
		○				授業で学んだ公式や解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	基礎計算				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	平方根の計算				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	方程式				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	解と係数の関係				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	不等式				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	一次関数				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	2次関数のグラフの概形				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	2次関数の平行移動				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	2次関数の最大値・最小値①(微分を使った最大最小の求め方)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	2次関数の最大値・最小値②(範囲のある関数の最大最小)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	2次関数の判別式				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	整式: 因数定理・剰余の定理				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	整式: 最大公約数・最小公倍数				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	三角比①(sin, cos, tan)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	三角比②(三角関数の公式)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	数的推理 I (前期)						
科目名(英)	Numerical Reasoning I (Former Period)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小原秀史・三藤宏光		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「数的推理」について、数的推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	○						
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	濃度①(方程式による計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	場合の数①(数え上げ、順列)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	濃度②(天秤、応用)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	場合の数②(組合せ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	年齢算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	場合の数③(仕切り法)・確率①(数え上げ等)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	一次方程式・連立方程式①(相当算など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	確率②(場合の数・組合せを用いた確率)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	一次方程式・連立方程式②(2つの文字を置いた計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	確率③(独立試行、期待値その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	不定方程式①(不定方程式の解き方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	図形の基本			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	不定方程式②(応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	三角形と多角形①(角度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	旅人算①(出会い算、追っかけ算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	三角形と多角形②(相似)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	旅人算②(複合問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	円①(角度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	通過算①(電車の通過)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	円②(2つの円の関係など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	通過算②(すれ違いの問題)・流水算①(基本問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	面積①(面積の基本公式)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	流水算②(比を用いた計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	面積②(砂時計の公式、等積移動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	時計計算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	面積③(複雑な形の面積)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	その他の速さの問題			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	面積④(応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	総合演習①(論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	総合演習②(確率図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	世界史 I (前期)						
科目名(英)	World History I (Former Period)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「世界史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				世界史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。		
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目ガイダンス、古代ギリシア世界			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	古代ローマ世界①(共和制ローマ～内乱の1世紀)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	古代ローマ世界②(三頭政治～専制ローマ帝国)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	中世ヨーロッパ①(ゲルマン大移動～フランク王国の分裂)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	中世ヨーロッパ②(ビザンツ帝国～叙任権闘争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	中世ヨーロッパ③(十字軍遠征)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	中世ヨーロッパ④(教皇権の衰退～封建制の崩壊)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	近代ヨーロッパ①(レコンキスタ～大航海時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	近代ヨーロッパ②(スペイン絶対王政～三十年戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	近代ヨーロッパ③(イギリス絶対王政～フランス絶対王朝)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	近代ヨーロッパ④(神聖ローマ帝国の弱体化～ロシア)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	総合演習1(古代ギリシア～近代ヨーロッパ)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	市民革命①(イギリス)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	市民革命②(アメリカ独立戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	市民革命③(フランス革命)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	ナポレオン時代①(ナポレオン登場～ウィーン体制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	ナポレオン時代②(反ウィーン体制の動き～三月革命)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	産業革命①(イギリス産業革命)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	産業革命②(他の国々の産業革命)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	総合演習2(市民革命～産業革命)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	19c～20cのヨーロッパ①(ヴィクトリア時代～ドイツ統一)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	19c～20cのヨーロッパ②(イタリア統一～帝政ロシア)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	19c～20cのヨーロッパ③(アメリカ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	帝国主義から世界大戦へ①(イギリス帝国主義～バルカン危機)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	帝国主義から世界大戦へ②(第一次世界大戦)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	ロシア革命と戦後の国際社会			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	戦間期の欧米諸国①(第一次世界大戦後の欧米諸国)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	戦間期の欧米諸国②(世界恐慌)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	第二次世界大戦			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	総合演習3(19c～第二次世界大戦)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	政治経済 I (前期)					
科目名(英)	Politics and Economics I (Former Period)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田亮介・西直正	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員担当科目		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治」及び「経済」について、公務員試験に出題される用語や基本概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				公務員試験に出題される用語について学び、説明することができる。	
	○				公務員試験に出題される政治・経済の仕組みについて学び、説明することができる。	
	○				公務員試験に出題される時事用語について学び、説明することができる。	
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	政治 科目ガイダンス、統治機構(三権分立)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	経済 科目ガイダンス、市場と価格①(需要供給曲線の描き方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	政治 統治機構(国会①:二院制、国会の会期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	経済 市場と価格②(曲線のシフト移動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	政治 統治機構(国会②:国会の権能、衆議院の優越)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	経済 市場と価格③(独占・寡占市場、市場の失敗)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	政治 統治機構(国会③:議院の権能、国会議員)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	経済 企業の仕組み			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	政治 統治機構(内閣)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	経済 景気と物価①(景気変動の波、インフレ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	政治 統治機構(裁判所①:裁判所の組織、裁判官の選出)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	経済 景気と物価②(デフレ、スタグフレーションなど)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	政治 統治機構(裁判所②:司法権の独立、違憲審査)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	経済 総合演習(市場～景気)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	政治 総合演習(国会～裁判所)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	経済 金融、日本銀行の金融政策①(日本銀行の役割)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	政治 日本国憲法の基本的性格			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	経済 日本銀行の金融政策②(三大金融政策)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	政治 地方自治①(憲法規定の地方自治)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	経済 財政①(予算、租税)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	政治 地方自治②(地方自治法規定の地方自治)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	経済 財政②(公債、プライマリーバランス等)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	政治 選挙制度①(各選挙区制度の特徴)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	24	経済 財政③(財政の果たす機能、財政政策)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	25	政治 選挙制度②(政党制、わが国の選挙制度の変遷)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	26	経済 為替レートと貿易①(国際収支、貿易概論)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	27	政治 民主主義の発展			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	28	経済 為替レートと貿易②(円高と円安)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	29	政治 総合演習(憲法概論～民主主義)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	30	経済 総合演習(金融～為替)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	総合演習 I (前期)						
科目名(英)	Synthesis Exercise I (Former Period)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	過去の公務員試験問題や実務教育出版が販売している模擬試験を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。また授業で不足している演習等を行い、問題に慣れ得点率を上げる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○	○	○	○		
	○	○	○	○	○		
	○	○	○	○	○		
目標	時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に効率よく問題を解き終えることができるようになる。 毎回の試験結果をもとに自信の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。 多くの問題に触れることで、問題のパターンを知り、類似問題を解くことができるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内模試) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	公務員模擬試験①(トライアル模試第1回)					
	2						
	3	知識系科目演習①(社会科学・人文科学の復習及びテスト)					
	4						
	5	知能系科目演習①(数的推理・判断推理の復習及びテスト)					
	6						
	7	知識系科目演習②(社会科学・人文科学の復習及びテスト)					
	8						
	9	公務員模擬試験②(H26刑務官採用試験)					
	10						
	11	知能系科目演習②(数的推理・判断推理の復習及びテスト)					
	12						
	13	知識系科目演習③(社会科学・人文科学の復習及びテスト)					
	14						
	15	中間試験①(知能系科目全般)					
	16						
	17	中間試験②(知識系科目全般)					
	18						
	19	公務員模擬試験③(H30東京消防庁Ⅲ類採用試験)					
	20						
	21	知識系科目演習④(社会科学・人文科学の復習及びテスト)					
	22						
	23	知能系科目演習③(数的推理・判断推理の復習及びテスト)					
	24						
	25	公務員模擬試験④(H30国家公務員一般職・税務職員採用試験)					
	26						
	27	知識系科目演習⑤(社会科学・人文科学の復習及びテスト)					
	28						
	29	知能系科目演習④(数的推理・判断推理の復習及びテスト)					
30							
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	知識科目演習 I (前期)							
科目名(英)	Knowledge Exercise I (Former Period)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	各担任			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	公務員総合科1年							
授業概要	他の知識分野科目の授業で行われる科目(社会科学・人文科学・自然科学)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった知識の追加や、正答率の低い問題について分野別の復習を行い、知識の定着を図る。							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○		○		知識分野の各授業で学んだ用語を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。		
	○	○		○		過去に出題された公務員試験を解き、授業内で補うことができなかった細かい論点や知識を追加することで、国家公務員一般職など難易度の高い問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	知識演習1(オリジナル教材:知識科目演習第1回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	知識演習2(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	知識演習3(オリジナル教材:知識科目演習第2回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	知識演習4(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	知識演習5(オリジナル教材:知識科目演習第3回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	知識演習6(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	知識演習7(オリジナル教材:知識科目演習第4回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	知識演習8(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	知識演習9(オリジナル教材:知識科目演習第5回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	知識演習10(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	知識演習11(オリジナル教材:知識科目演習第6回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	知識演習12(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	知識演習13(オリジナル教材:知識科目演習第7回)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	知識演習14(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	知識演習15(総合演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。評価はR評価とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	小テスト	○	◎				50%	
	出席状況				○		50%	
履修上の注意								

科目名	知能科目演習 I (前期)								
科目名(英)	Intelligence Exercise I (Former Period)								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤 宏光				
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員総合科1年								
授業概要	他の知能分野科目の授業で行われる科目(数的推理・判断推理・資料解釈・文章理解)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった解法の追加や、正答率の低い問題について反復練習を行い、スキルの定着を図る。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○	○		○		授業内で紹介された解法を用いて、教科書記載の例題問題を解くことができる。			
	○	○		○		過去に出題された公務員試験を解くことで多くの解法やパターンを学び、応用問題を解くことができる。			
テキスト・教材 参考図書	・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	数的推理演習1(濃度・旅人算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	2	判断推理演習1(命題、サイコロ)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	3	数的推理演習2(比と割合・通過算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	4	判断推理演習2(集合、立方体の展開図)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	5	数的推理演習3(仕事算・旅人算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	6	判断推理演習3(うそつき、多面体の展開図)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	7	数的推理演習4(ニュートン算・速さ全般)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	8	判断推理演習4(対応関係、直線上の軌跡)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	9	数的推理演習5(売買損益・時計算)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	10	判断推理演習5(順序関係、図形内の軌跡)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	11	数的推理演習6(約数倍数・場合の数)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	12	判断推理演習6(試合、立体図形の切断)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	13	数的推理演習7(不定方程式・確率)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	14	判断推理演習7(手順、折り紙)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	15	数的推理演習8(図形)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。評価はR評価とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	○	◎				50%		
	出席状況				○		50%		
履修上の注意									

科目名	地理 I (前期)						
科目名(英)	Geography I (Former Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	津田 亮介		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「地理」について、公務員試験に出題される用語や概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					公務員試験に出題される地理用語や仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目ガイダンス、地理の基礎知識				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	気候①(ケッペンの気候区分、熱帯～温帯)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	気候②(ケッペンの気候区分、冷帯～寒帯)・土壌				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	風・日本の気候				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	地形①(大地形～侵食平野)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	地形②(堆積平野～海岸地形)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	地形③(海岸平野～その他の地形)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	総合演習1(気候～地形)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	地図				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	世界の農牧業①(農牧業の分類～ヨーロッパ)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	世界の農牧業②(中国～アメリカ)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	生産量・輸出入・発電				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	東アジア①(日本)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	東アジア②(中国、韓国)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
15	総合演習2(地図～東アジア)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	適性試験・一般教養対策 I (前期)				
科目名(英)	Qualification Test and General Education Countermeasure I (Former Period)				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	事務適性試験を毎朝反復して練習し、処理速度をあげるとともに適性試験に慣れ、点数の向上を目指す。また、前日や前週までに実施された授業の確認テストを実施することで、授業内容の理解・定着の確認を行う。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	目標 事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。 各科目の確認テスト(復習テスト)を行い、これまでの授業の理解度を確認する。また点数が取れなかった科目については再テストを受験し、知識を定着させ、同分野の問題を解けるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 ・オリジナル教材(一問一答集、ASODリル) 				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験(第1回)および一般教養演習1(ASODリル政治テスト第1回)			
	2	事務適性試験(第2回)および一般教養演習2(ASODリル経済テスト第1回)			
	3	事務適性試験(第3回)および一般教養演習3(ASODリル日本史テスト第1回)			
	4	事務適性試験(第4回)および一般教養演習4(ASODリル世界史テスト第1回)			
	5	事務適性試験(第5回)および一般教養演習5(漢字テスト第1回)			
	6	事務適性試験(第6回)および一般教養演習6(ASODリル政治テスト第2回)			
	7	事務適性試験(第7回)および一般教養演習7(ASODリル経済テスト第2回)			
	8	事務適性試験(第8回)および一般教養演習8(ASODリル日本史テスト第2回)			
	9	事務適性試験(第9回)および一般教養演習9(ASODリル世界史テスト第2回)			
	10	事務適性試験(第10回)および一般教養演習10(漢字テスト第2回)			
	11	事務適性試験(第11回)および一般教養演習11(ASODリル政治テスト第3回)			
	12	事務適性試験(第12回)および一般教養演習12(ASODリル経済テスト第3回)			
	13	事務適性試験(第13回)および一般教養演習13(ASODリル日本史テスト第3回)			
	14	事務適性試験(第14回)および一般教養演習14(ASODリル世界史テスト第3回)			
	15	事務適性試験(第15回)および一般教養演習15(漢字テスト第3回)			
	16	事務適性試験(第16回)および一般教養演習16(ASODリル政治テスト第4回)			
	17	事務適性試験(第17回)および一般教養演習17(ASODリル経済テスト第4回)			
	18	事務適性試験(第18回)および一般教養演習18(ASODリル日本史テスト第4回)			
	19	事務適性試験(第19回)および一般教養演習19(ASODリル世界史テスト第4回)			
	20	事務適性試験(第20回)および一般教養演習20(漢字テスト第4回)			
	21	事務適性試験(第21回)および一般教養演習21(ASODリル政治テスト第5回)			
	22	事務適性試験(第22回)および一般教養演習22(ASODリル経済テスト第5回)			
	23	事務適性試験(第23回)および一般教養演習23(ASODリル日本史テスト第5回)			
	24	事務適性試験(第24回)および一般教養演習24(ASODリル世界史テスト第5回)			
	25	事務適性試験(第25回)および一般教養演習25(漢字テスト第5回)			
	26	事務適性試験(第26回)および一般教養演習26(ASODリル政治テスト第6回)			
	27	事務適性試験(第27回)および一般教養演習27(ASODリル経済テスト第6回)			
	28	事務適性試験(第28回)および一般教養演習28(ASODリル日本史テスト第6回)			
	29	事務適性試験(第29回)および一般教養演習29(ASODリル世界史テスト第6回)			
	30	事務適性試験(第30回)および一般教養演習20(漢字テスト第6回)			
	31	事務適性試験(第31回)および一般教養演習31(ASODリル政治テスト第7回)			
	32	事務適性試験(第32回)および一般教養演習32(ASODリル経済テスト第7回)			
	33	事務適性試験(第33回)および一般教養演習33(ASODリル日本史テスト第7回)			
	34	事務適性試験(第34回)および一般教養演習34(ASODリル世界史テスト第7回)			
	35	事務適性試験(第35回)および一般教養演習35(漢字テスト第7回)			

授業計画	36	事務適性試験(第36回)および一般教養演習36(ASOドリル政治テスト第8回)						
	37	事務適性試験(第37回)および一般教養演習37(ASOドリル経済テスト第8回)						
	38	事務適性試験(第38回)および一般教養演習38(ASOドリル日本史テスト第8回)						
	39	事務適性試験(第39回)および一般教養演習39(ASOドリル世界史テスト第8回)						
	40	事務適性試験(第40回)および一般教養演習40(漢字テスト第8回)						
	41	事務適性試験(第41回)および一般教養演習41(ASOドリル政治テスト第9回)						
	42	事務適性試験(第42回)および一般教養演習42(ASOドリル経済テスト第9回)						
	43	事務適性試験(第43回)および一般教養演習43(ASOドリル日本史テスト第9回)						
	44	事務適性試験(第44回)および一般教養演習44(ASOドリル世界史テスト第9回)						
	45	事務適性試験(第45回)および一般教養演習45(漢字テスト第9回)						
	46	事務適性試験(第46回)および一般教養演習46(ASOドリル政治テスト第10回)						
	47	事務適性試験(第47回)および一般教養演習47(ASOドリル経済テスト第10回)						
	48	事務適性試験(第48回)および一般教養演習48(ASOドリル日本史テスト第10回)						
	49	事務適性試験(第49回)および一般教養演習49(ASOドリル世界史テスト第10回)						
	50	事務適性試験(第50回)および一般教養演習50(漢字テスト第10回)						
	51	事務適性試験(第51回)および一般教養演習51(ASOドリル政治テスト第11回)						
	52	事務適性試験(第52回)および一般教養演習52(ASOドリル経済テスト第11回)						
	53	事務適性試験(第53回)および一般教養演習53(ASOドリル日本史テスト第11回)						
	54	事務適性試験(第54回)および一般教養演習54(ASOドリル世界史テスト第11回)						
	55	事務適性試験(第55回)および一般教養演習55(漢字テスト第11回)						
	56	事務適性試験(第56回)および一般教養演習56(ASOドリル政治テスト第12回)						
	57	事務適性試験(第57回)および一般教養演習57(ASOドリル経済テスト第12回)						
	58	事務適性試験(第58回)および一般教養演習58(ASOドリル日本史テスト第12回)						
	59	事務適性試験(第59回)および一般教養演習59(ASOドリル世界史テスト第12回)						
	60	事務適性試験(第60回)および一般教養演習60(漢字テスト第14回)						
	61	事務適性試験(第61回)および一般教養演習61(ASOドリル政治テスト第13回)						
	62	事務適性試験(第62回)および一般教養演習62(ASOドリル経済テスト第13回)						
	63	事務適性試験(第63回)および一般教養演習63(ASOドリル日本史テスト第13回)						
	64	事務適性試験(第64回)および一般教養演習64(ASOドリル世界史テスト第13回)						
	65	事務適性試験(第65回)および一般教養演習65(漢字テスト第13回)						
	66	事務適性試験(第66回)および一般教養演習66(ASOドリル政治テスト第14回)						
	67	事務適性試験(第67回)および一般教養演習67(ASOドリル経済テスト第14回)						
	68	事務適性試験(第68回)および一般教養演習68(ASOドリル日本史テスト第14回)						
	69	事務適性試験(第69回)および一般教養演習69(ASOドリル世界史テスト第14回)						
	70	事務適性試験(第70回)および一般教養演習70(漢字テスト第14回)						
	71	事務適性試験(第71回)および一般教養演習71(ASOドリル政治テスト第15回)						
	72	事務適性試験(第72回)および一般教養演習72(ASOドリル経済テスト第15回)						
	73	事務適性試験(第73回)および一般教養演習73(ASOドリル日本史テスト第15回)						
	74	事務適性試験(第74回)および一般教養演習74(ASOドリル世界史テスト第15回)						
	75	事務適性試験(第75回)および一般教養演習75(漢字テスト第15回)						
	評価方法	毎日実施する事務適性検査、ASOドリルテスト、漢字テストの平均点で評価する。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		事務適性検査	○	◎				20%
		ASOドリルテスト	◎	○				50%
		漢字テスト	◎	○				30%
	履修上の注意							

科目名	日本史 I (前期)						
科目名(英)	Japanese History I (Former Period)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	前田 智成		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「日本史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				日本史史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。		
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目ガイダンス、古代1(縄文時代～大和時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	古代2(飛鳥時代～大化の改新)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	古代3(律令国家の完成)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	古代4(奈良時代初期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	古代5(奈良時代中期～末期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	古代6(平安時代初期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	古代7(平安時代中期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	古代8(平安時代末期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	総合演習1(縄文～平安)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	中世1(鎌倉時代初期①:各種制度、組織図)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	中世2(鎌倉時代初期②:執権)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	中世3(鎌倉時代中期以降)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	中世4(南北朝時代～室町時代初期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	中世5(室町時代中期以降①:応仁の乱まで)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	中世6(室町時代中期以降②:戦国大名)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	総合演習3(鎌倉～室町)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	近世1(安土桃山時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	近世2(江戸時代①:初期の幕藩体制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	近世3(江戸時代②:鎖国までの流れ、文治政治への転換)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	近世4(江戸時代③:綱吉の政治～享保の改革)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	近世5(江戸時代④:田沼時代～天保の改革)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	近世6(江戸時代⑤:開国までの流れ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	近世7(江戸時代⑥:公武合体～討幕運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	総合演習4(安土桃山～江戸)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	近代1(明治①:新政府の各種制度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	近代2(明治②:武士の没落)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	近代3(明治③:自由民権運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	近代4(明治④:日清戦争と日露戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	近代5(明治⑤:明治時代の議会)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	総合演習5(明治)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	判断推理 I (前期)						
科目名(英)	Judgement Reasoning I (Frmer Period)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤 宏光		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「判断推理」について、判断推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				命題やうそつきなど判断推理独自の考え方や解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。		
	○				授業で学んだ考え方や解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	論理①(三段論法、しりとり)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	折り紙①(基本問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	論理②(空欄補充のパターン)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	折り紙②(応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	論理③(集合を用いた命題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	道順・位相①(足し算による道順の求め方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	集合・人数①(3つのベン図の基本)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	道順・位相②(行き止まり、一方通行など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	集合・人数②(ベン図をバズル感覚で捉える)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	展開図①(立方体の展開図)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	うそつき①(GW法)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	展開図②(多面体の展開図)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	うそつき②(半分本当、半分うそ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	展開図③(表面の形に注目した問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	うそつき③(番町式その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	展開図④(サイコロ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	総合演習①(論理分野)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	総合演習②(図形分野)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	対応関係①(1対1対応)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	平面図形①(数え上げ、切断)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	対応関係②(複数対応)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	平面図形②(組み立て、重ね合わせ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	対応関係③(特殊なパターンの対応関係)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	軌跡①(直線上を転がす)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	順序関係①(表を用いて整理)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	軌跡②(円周上を転がす、図形内外を転がす)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	順序関係②(応用問題)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	軌跡③(応用問題)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	総合演習③(論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	総合演習④(図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文章理解(現代文) I (前期)						
科目名(英)	Sentence Reading Comprehension (Modern Statement) I (Former Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	坪井 巨樹		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される分野のうち「現代文(古典も含む)」および「国語全般に関する知識(漢字・諺・慣用語・四字熟語など)」について、解法や出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				公務員試験に出題される文章問題の種類(要旨把握、内容合致、文章整序、空欄補充)に応じた効率のよい解法を用いて、教科書に記載される例題問題を解くことができる。	
	○	○				日本文学史や口語文法(敬語も含む)、四字熟語(頻出問題)など国語分野の知識を身につけ、教科書に記載される例題問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	要旨把握①、文学史(上代)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	要旨把握②、文学史(中古・和歌)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	要旨把握③、文学史(中古・物語)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	要旨把握④、文学史(中古・物語)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	要旨把握⑤、文学史(中古・日記、随筆)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	要旨把握⑥、文学史(中世・和歌)、四字熟語				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	文章整序①、文学史(中世・連歌)、四字熟語、口語文法助動詞(「れる」「られる」)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	文章整序②、文学史(中世・物語)、四字熟語、口語文法助動詞(「ようだ」「そうだ」)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	文章整序③、文学史(中世・説話)、四字熟語、口語文法助動詞(「だ」)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	文章整序④、文学史(近世・俳諧)、四字熟語、口語文法(形容詞と連体詞の違い)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	空欄補充①、文学史(近世・物語)、四字熟語、口語文法(「ない」の識別)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	空欄補充②、文学史(近世・浄瑠璃、国字)、四字熟語、口語文法(「らしい」識別)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	空欄補充③、文学史(近代)、四字熟語、口語文法(助詞「の」)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	空欄補充④、文学史(近代)、四字熟語、敬語(尊敬語)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
15	総合演習				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	理科 I (前期)						
科目名(英)	Science I (Former Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	松ヶ下 剛士		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野「理科」について、前期では「物理」及び「地学」の計算式や用語、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					物理や地学の用語や計算式、仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【物理】1. 力			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	【物理】2-1. 滑車, てんびん			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	【物理】2-2. ばね, 浮力			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	【物理】3-1. 物体の運動(等加速度運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	【物理】3-2. 物体の運動(落下運動など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	【物理】4. 力学的エネルギー			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	【物理】5. 電気			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	【物理】6. 波動			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	【物理】7. 放射線			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	【地学】1. 地球の内部 2. 地震 3. 岩石・火山			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	【地学】4. 大気構成 5. 天気			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	【地学】6. 地球の運動 7. 太陽・月			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	【地学】8. 太陽系の天体 9. 恒星と宇宙 10. 地球の歴史			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	総合演習①(国家系過去問題を中心)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	総合演習②(地方系過去問題を中心)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						